学校番号	309

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術研究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	鉛筆、木炭、プリント教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

美術・デザイン関係を志望する生徒に実践的な活動を行い、より深い知識・技能をはぐくむことを目的とする。主に、鉛筆デッサン、木炭デッサン、色彩構成などを行う。
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を追求し、個性を活かして創造的に表すことを目標とします。

2　学習の到達目標

（1） 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに，意図に応じて表現方法を創意工夫し，創造的に表すことができるようにする。
（2） 造形的なよさや美しさ，表現の意図と創意工夫，美術の働きなどについて考え，主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり，価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
（3） 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み，生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，美術文化に親しみ，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実技を中心とした活動を通じてより深い知識・技能を身につけるとともに、作品制作を通してその定着をはかる。	実技、ワークシートを通じて、表現したいことを言語化する力の向上をはかる。 また、鑑賞、レポートを通して、感じたことを言語化する力の向上をはかる。	制作活動に主体的・意欲的に取り組み、自己の課題を見つけ、それを解決する方法を模索する。 また、鑑賞を通して多様な表現を知るとともに、他者理解の機会とする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	作品制作①	レイアウト　練習 レタリング　練習 デッサン　練習 ポスター制作	a: 文字、図(絵)、配色、構成など、デザインの特性を活かして第三者に情報を伝えようとしている。 b: 文字の大きさや配列、図(絵)の配置に気を配り、ポスターを描くことができる。 c: 意図に応じて創意工夫し、見通しをもって表現の創作活動に取り組もうとしている。	作品提出	作品提出 ワークシート	作品提出 ワークシート 行動観察
2学期	作品制作②	ワークシート アイデアスケッチ 作品制作	a: 文字、図(絵)、配色、構成など、デザインの特性を活かして第三者に情報を伝えようとしている。 b: 文字の大きさや配列、図(絵)の配置に気を配り、作品を描くことができる。 c: 意図に応じて創意工夫し、見通しをもって表現の創作活動に取り組もうとしている。	作品提出	作品提出 ワークシート	作品提出 ワークシート 行動観察
3学期	作品制作③	ワークシート 作品制作	a: 文字、図(絵)、配色、構成など、デザインの特性を活かして第三者に情報を伝えようとしている。 b: 文字の大きさや配列、図(絵)の配置に気を配り、作品を描くことができる。 c: 意図に応じて創意工夫し、見通しをもって表現の創作活動に取り組もうとしている。	作品提出	作品提出 ワークシート	作品提出 ワークシート 行動観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度